

外部人材・地域資源を活用した カリキュラム・マネジメントの推進に向けて

東京都教育委員会では、これからの時代に求められる資質・能力を児童・生徒に育むため、昨年度から、多様な教育課題等に対し、外部人材・地域資源を有効に活用することで授業改善につなげ、カリキュラム・マネジメントを推進する本事業を実施しています。

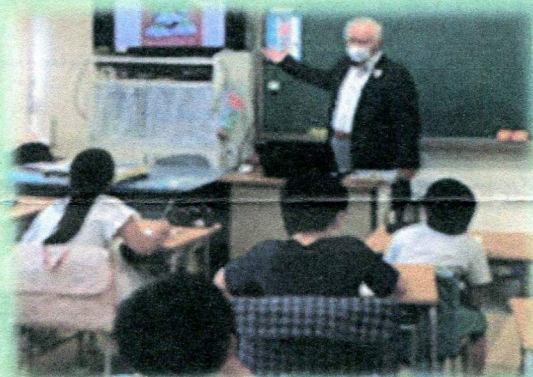
令和4年度 地域人材・資源活用事業推進校の取組実践例

小学校 第5学年 総合的な学習の時間 「命をつなぐ ～江戸東京野菜～」

昭島市立光華小学校

「伝統野菜の栽培を通し、食や命のつながりを『自分事』として考える価値観」の育成を目指し、専門家、昭島市給食課の担当者及び農家の方との対話、学級園を活用した伝統野菜の栽培、昭島市給食シンポジウムでの発表を行いました。

昭島市給食シンポジウムで発表することで、相手意識やこの取組の目的を明確にして、自分たちの活動の価値を再認識し、「自己効力感」を高める機会としました。



江戸東京野菜 専門家の授業



農家の方に教えてもらい、種苗を植え付け

中学校 第1学年 社会・理科・総合的な学習の時間「山の学習」

豊島区立千登世橋中学校

「探究的な学習に主体的・協働的に取り組む態度」の育成を目指し、理科の授業で、大学教授から、山に生える植物、生物及び自然環境を保全する重要性の指導を受け、その後、総合的な学習の時間で、研究課題を設定し、高尾山登山を行いました。

専門家との対話を通して、学習の意義について考え、生徒が目的意識や必要感をもって探究的な学習に取り組むことができるように工夫しました。



大学教授による講演



高尾山登山

令和4年度の推進校17校からは、「地域の人材や教材を活用することで、地域を身近な存在として感じ、愛着をもつことができた」、「地域人材を活用した体験活動を行ったことで、生徒の学びが深まり、主体的に自分たちができることを考え、取り組むことができた」等の報告がありました。

また、この取組の事後アンケートで、『教科等横断的な視点によるカリキュラム・マネジメント（各教科等の関連付けを図った教育課程の編成や、各教科等・学年を越え

た組織運営の改善等）を進めることができたか』の質問に対し、肯定的な評価が約88%ありました。昨年度の研究内容や取組・成果については、東京都教育委員会のウェブページ上に公開していますので、是非御確認ください。以下にURL及び二次元コード掲載しています。



令和5年度も「地域人材・資源活用推進事業」を実施します

昨年度の成果を踏まえ、令和5年度は、新たに以下の推進校を指定し、児童・生徒に身に付けさせる「資質・能力」の育成に向け、取り組んでいきます。

令和5年度の推進校（17校）

区市町村立学校	港区立芝浜小学校	文京区立本郷小学校
	大田区立入新井第一小学校	杉並区立杉並第七小学校
	豊島区立南池袋小学校	葛飾区立東金町小学校
	八王子市立七国小学校	町田市立木曽境川小学校
	大島町立さくら小学校	杉並区立松ノ木中学校
	豊島区立千登世橋中学校	青梅市立青梅第六中学校
	東村山市立東村山第二中学校	清瀬市立清瀬第五中学校
	青ヶ島村立青ヶ島小学校・青ヶ島中学校	
都立特別支援学校	都立文京盲学校	都立七生特別支援学校

本通信では、各学校におけるカリキュラム・マネジメントに向けた取組の参考となるよう、昨年度の取組や今年度の推進校の取組状況等を発信していきますので、御活用ください。

令和4年度の地域人材・資源活用事業推進校の取組は、東京都教育委員会のウェブページ上で御確認いただけます。以下のURL及び右の二次元コードからアクセスできますので、御参照ください。

URL: https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/school/designated_and_promotional_school/cooperation/files/project/01.pdf



【二次元コード】